

株式会社アースホールディングス

- ◇ 内容:リーフレット・ポケットティッシュの設置
- ◇ 場所:美容室 EARTH 都内 51 店舗、本社営業所
詳細は、下記ホームページ内「お知らせ」をご確認ください。
<https://hairmake-earth.com/> (美容室 EARTH ホームページ)

株式会社小田急百貨店

- ◇ 内容:リーフレット・ポケットティッシュの設置
- ◇ 場所:小田急百貨店新宿店 (東京都新宿区西新宿 1-1-3)
小田急百貨店町田店 (東京都町田市原町田 6-12-20)

コンタクトのアイシティ (HOYA 株式会社アイケアカンパニー)

- ◇ 内容:リーフレット、ポケットティッシュの設置、子宮頸がん検診啓発動画の放映
- ◇ 場所:コンタクトのアイシティ 都内 88 店舗
店舗所在地は、下記ホームページをご確認ください。
<https://www.eyecity.jp/> (コンタクトのアイシティホームページ)

新宿住まいのショールーム会

- ◇ 内容:リーフレット・ポケットティッシュ設置
- ◇ 場所:新宿住まいのショールーム会 各ショールーム
各ショールームの詳細は、下記ホームページをご確認ください。
<https://www.sumai-showroom.com/> (新宿住まいのショールーム会ホームページ)

一般社団法人 日本フィットネス産業協会 (FIA)

- ◇ 内容:ポスターの掲出
- ◇ 場所:FIA に加盟するフィットネスクラブ 都内 618 店舗
加盟店舗の詳細は、下記ホームページをご確認ください。
<https://www.fia.or.jp/> (一般社団法人 日本フィットネス産業協会ホームページ)

株式会社ミュゼプラチナム

- ◇ 内容:リーフレット・ポケットティッシュの設置、ポスターの掲出
- ◇ 場所:株式会社ミュゼプラチナム本社 (東京都渋谷区代々木 3-37-5)

各企業・団体では、
子宮頸がん検診啓発グッズを活用して
子宮頸がん検診の受診を呼びかけます！

左 :リーフレット
中央:ポスター
右 :ポケットティッシュ



インフルエンサープロフィール（五十音順）

【FC東京 内田宅哉】

1998年6月2日生まれ。2017年にFC東京にトップチームに昇格。優れたテクニックと豊富な運動量をベースに複数のポジションを高いレベルでこなし、中盤でのボール奪取から最前線でのフィニッシュまで様々な形でボールに絡み、チームに躍動感を与える。

【トリンドル玲奈(Reina Trindl)】

1992年1月23日生、オーストリア出身。2009年にモデルとしてデビュー。バラエティ番組などにも活動範囲を広げ人気を集める。また、ドラマ「黒の女教師」(2012年TBS系)で女優デビューし、「いつかティファニーで朝食を」(2015年日本テレビ系)でドラマ初主演。近作に「ランチ合コン探偵～恋とグルメと謎解きと～」(2020年日本テレビ系)など。

【藤井サチ(Sachi Fujii)】

2012年、『ミスセブンティーン 2012』に選ばれ同誌の専属モデルとなりデビュー。現在は講談社『ViVi』専属モデルとして活動中。ジャンルに囚われず活動の幅を広げており更なる活躍が期待される。

子宮頸がんについて 20歳から2年に1回、子宮頸がん検診受けましょう。

【20歳代後半から子宮頸がんが診断される女性が増加】

子宮頸がんになる人は20歳代後半から増加し始め、30歳代後半～40歳代でピークを迎えるため、若いうちから検診を受けることが大切です。

早期のうちには症状がないため、「子宮頸がんにかかっている」と自分で気が付くことは困難ですが、検診で早期に発見し早期のうちに治療すれば、90%以上が助かることが分かっています。

子宮頸がんになった人の割合



出典：日本産科婦人科学会婦人科腫瘍委員会報告
第61回治療年報

乳がんについて 40歳から2年に1回、乳がん検診受けましょう。

【かかる女性は最も多いが、早期治療で10年生存率は97%】

最も多くの女性がかかるがんが乳がん、日本人女性の9人に1人が乳がんになっています。

乳がん検診により早期に発見し、早期に治療すれば10年相対生存率は97%以上です。*「10年相対生存率」とは、診断時から10年生きている人の割合です。

乳がんの進行度に応じた10年相対生存率

ステージ (進行度)	10年相対生存率
I期	97.6%
II期	87.4%
III期	61.9%
IV期	18.3%

出典：がんの統計'19(がん研究振興財団)

大腸がんについて 40歳から年1回、大腸がん検診受けましょう。

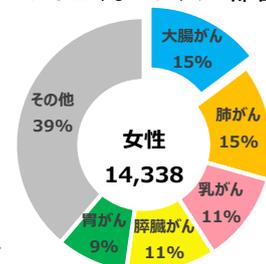
【都内女性のがん死亡者の死因の第1位】

都民のがん死亡者数を部位別に多い順で見ると、女性では大腸がんが第1位です(男性は第2位)。

大腸がんを、早期発見・早期治療した場合の5年相対生存率は98.8%*です。

*がんの統計'19(がん研究振興財団)

都内でがんで亡くなった人の部位別割合



出典：厚生労働省
「人口動態統計」(平成30年)